

第73期 株主通信

2018年4月1日から2019年3月31日まで

ロジスティクスに最適解を
大石産業株式会社

証券コード：3943





企業理念

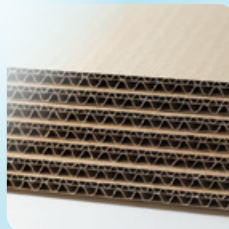
常に新しく価値ある商品・サービスを提供する

働きがいのある豊かな生活を実現する

成長分野で、優れた業績を約束する

社会と地域に有用な存在となる

地球環境の保全に貢献する



CONTENTS

TOP MESSAGE	2
営業の概況	3
連結業績ハイライト	5
主要連結財務データ	6
セグメント情報	7
TOPICS	9
次期の見通しと配当について	11
株式の概況	12
会社の概況	13

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2019年3月31日をもって、第73期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)事業年度を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

代表取締役社長 **大久保 則夫**



当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・個人消費の改善、設備投資の持ち直しがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国の通商政策の動向、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等により先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは「TPS(トータル・パッケージング・ソリューション)提案」により顧客満足を徹底的に追求するとともに、全社をあげてイノベーション活動に取り組み、業績向上に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、樹脂成型品の生産販売開始及び段ボール製品、紙袋製品の売上増により、187億85百万円(前連結会計年度比2.3%増)となりました。利益については、原材料等の値上がりの影響が大きく、営業利益は7億59百万円(同29.6%減)、経常利益は9億45百万円(同24.4%減)、当期純利益は5億77百万円(同36.3%減)となりました。



パルピー10H 2P用手提げ燻製BOX

パルプモールド製の卵パック(パルピー10卵入り)を2パック安全に運べる手提げ箱に、燻製器としての機能を付加した製品です。

当製品は、2018日本パッケージングコンテスト輸送包装部門賞を受賞いたしました。今後も積極的な製品開発に取り組み、お客様満足の向上に努めてまいります。

なお、期末配当につきましては、1株につき27円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、国内では雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されております。海外では通商問題の動向、中国経済の先行き、海外経済の不確実性や金融・資本市場の変動が景気を押し下げる懸念があります。

このような状況下、当社グループは販売、製造部門のイノベーション活動の展開を更に活発化するとともに、新製品の開発推進、品質改善活動や原価低減に取り組み、業績向上に努めてまいります。

重点課題として以下の4点に取り組みます。

- ① 真の循環型事業としてSDGsの達成に向けた取り組みの具体化
- ② 脱プラスチック社会に向けたパルプモールド需要の創造
- ③ SDGs理念に合致した新しいフィルム分野の開発・開拓
- ④ 海外事業の強化・拡大

売上高
18,785百万円
(前期比 2.3%増)

営業利益
759百万円
(前期比 29.6%減)

経常利益
945百万円
(前期比 24.4%減)

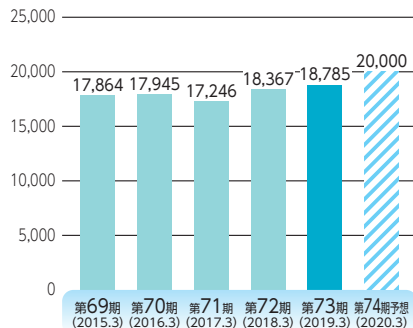
当期純利益
577百万円
(前期比 36.3%減)

決算のポイント

- 売上高については、樹脂成型品の生産販売開始及び段ボール製品、紙袋製品の売上増により増収となりました。
- 利益については、原材料等の値上がりの影響が大きく減益となりました。

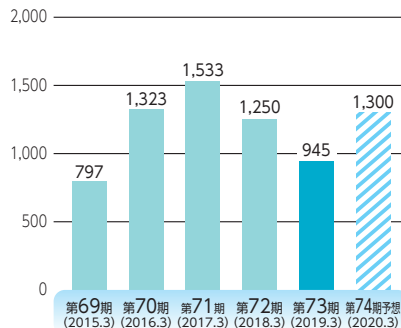
売上高

(百万円)



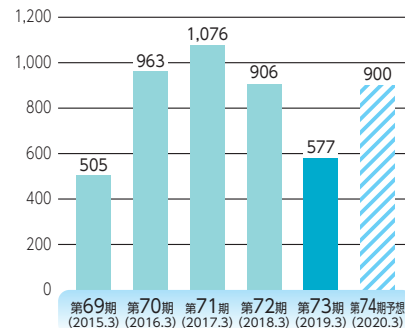
経常利益

(百万円)



当期純利益

(百万円)



科 目	第69期 (2015.3)	第70期 (2016.3)	第71期 (2017.3)	第72期 (2018.3)	第73期 (2019.3)
売上高 (百万円)	17,864	17,945	17,246	18,367	18,785
営業利益 (百万円)	574	1,103	1,377	1,079	759
経常利益 (百万円)	797	1,323	1,533	1,250	945
当期純利益 (百万円)	505	963	1,076	906	577
設備投資額 (百万円)	1,092	227	1,144	792	594
総資産 (百万円)	18,897	18,753	20,007	21,033	21,006
純資産 (百万円)	11,319	11,627	12,593	13,478	13,407
1株当たり当期純利益 (円)	126.01	240.33	268.54	226.03	145.84
1株当たり純資産額 (円)	2,821.81	2,897.68	3,137.84	3,356.88	3,449.61

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。第69期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益および1株当たり純資産額を算定しております。

緩衝機能材事業

売上高 **84**億**59**百万円

営業の概況

パルプモールド部門は、売上高は工業品分野と青果物分野の一部で増加したものの、鶏卵分野は年明け後の卵価下落や夏場の酷暑の影響で減少となり、パルプモールド部門の売上高は47億4百万円(前連結会計年度比1.2%減)となりました。

段ボール部門は、農業分野および工業分野ともに数量減となりましたが、段ボール原紙価格上昇分の販売価格への転嫁が進んだことで、売上高は31億45百万円(同3.6%増)となりました。

成型部門は、樹脂成型品の生産販売を開始したことで、売上高は従来の宙吊り式包装容器(ゆりかご)とあわせて6億8百万円(同594.3%増)となりました。

その結果、当事業の売上高は84億59百万円(同7.3%増)となりましたが、原料および燃料費の増加や樹脂成型品の立ち上げによる初期費用等でセグメント利益は7億円(同1.0%減)となりました。

●主要製品紹介

【パルプモールド】

梨トレー

表皮が弱く輸送時に傷つきやすい果物をパルプモールドの適度な柔らかさとクッション性で傷つきを防止し、通気性・吸湿性で鮮度を保持します。また、梱包作業時の機能性を向上させる設計を行っています。



【段ボール】

農業分野段ボール

果物や蔬菜等の青果物全般で広くご利用いただいています。パルプモールドトレーをセットすることで、さらなる緩衝性能アップのご提案を行います。



【成 型】

食品トレー

近年、食事スタイルの多様化により中食(なかしょく)の需要が増えています。当社は、従来の食品トレー用フィルムの製造に加え、食品トレーの製造も行うことにより、技術力の向上に努めていきます。



包装機能材事業

売上高 **97億68** 百万円

営業の概況

フィルム部門は、食品容器用フィルムが国内の中食需要増の影響もあり好調が継続したこと、また、積極的な機能性フィルムの拡販が奏功し増収となり、フィルム部門の売上高は40億62百万円(前連結会計年度比1.9%増)となりました。

重包装袋部門は、国内は製粉・合成樹脂向けが好調で増収となりましたが、海外は中国経済の減速による物流減少および現地マーケットの競争激化等で減収となり、重包装袋部門の売上高は57億6百万円(同6.2%減)となりました。

その結果、当事業の売上高は97億68百万円(同3.0%減)となりましたが、海外における原材料価格上昇の影響が大きく、セグメント利益は8億89百万円(同25.1%減)となりました。

●主要製品紹介

【フィルム】

食品容器用フィルム

スーパー・コンビニなどで販売されている弁当や惣菜の食品容器に当社のポリスチレンフィルムが使用されています。食品容器の強度と美粧性を向上させることができ、中身の食品を際立たせます。



【重包装袋】

化学品・食品用重包装袋

徹底した品質管理を図り、異物や害虫の混入を防ぎます。食品や高機能化学品分野においても高品質をご提供し、お客様からの品質力No.1の評価と信頼をいただけるように日々努めています。



1 東京パック2018に出展

当社は、2018年10月に開催された東京パック2018(東京国際包装展)に出展しました。

「感動・新発見! ECOパッケージ」をコンセプトに掲げ、地球環境の保全に取り組む当社のトータル・パッケージング・ソリューション提案を皆様にお伝えするため、機能性フィルム製品をはじめ、植物由来のバイオマスフィルムを中心とした環境配慮型フィルム(開発製品)を数多く展示、多くの来場者の方に当社ブースへお越しいただきました。

お客様の貴重な情報に耳を傾け、新製品の開発と販路の開拓を行いながら、地球環境の保全に貢献いたします。



2 直方工場が福岡県知事表彰

当社直方工場は、「平成30年度公正採用選考人権啓発優良事業所および優良推進員」の2件において福岡県知事より表彰されました。福岡県では、企業内はもとより地域等で人権を尊重した公正な採用選考システムの確立に取り組む事業所に対して、県知事表彰を行っており、当社の公正な採用選考活動が評価されました。



3 ロシア企業がパルプモールド工場を視察

2019年1月31日、2月1日に当社のパルプモールド工場（鞍手・茨城）に、ロシア企業のSOEMZ社を招き、視察研修を実施しました。

この取り組みは、日露両政府で合意した経済協力の一環で、当日はパルプモールド産業全般に関する情報交換を行いました。

鶏卵や青果物、工業品向けの需要が増加しているロシアでの事業展開の可能性についても意見交換を行いました。



●次期の見通し

各事業区分別の取り組みは以下のとおりであります。

①緩衝機能材事業

- 既存製品の機能性向上および拡販
- 最適生産体制の確立と徹底的なコストダウンによる収益力強化

②包装機能材事業

- 新機能フィルムの製品開発
- 品質優位の再構築
- 海外新市場の開拓

●第74期(2020年3月期)予想

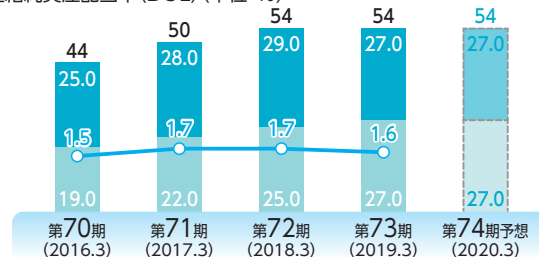
売 上 高	20,000	百万円 (前期比 6.5%増)
営 業 利 益	1,050	百万円 (前期比 38.2%増)
経 常 利 益	1,300	百万円 (前期比 37.6%増)
当 期 純 利 益	900	百万円 (前期比 55.9%増)

●配当政策

当社グループは、生産性の向上等による利益体質の強化を図りながら、将来の事業展開に備えた内部留保を確保しつつ、連結純資産配当率(DOE)1.5%以上を目安に、安定的に配当を実施する方針としております。

1株当たり配当金(■期末配当 ■中間配当)(単位:円)

○連結純資産配当率(DOE)(単位:%)



(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。上記のグラフでは、過去にさかのぼって比較できるように、第70期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して表示しております。

●株式の状況 (2019年3月31日現在)

(1) 発行済株式の総数 4,664,000株 (自己株式含む)

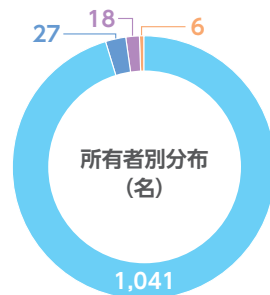
(2) 株主数 1,092名

(3) 大株主

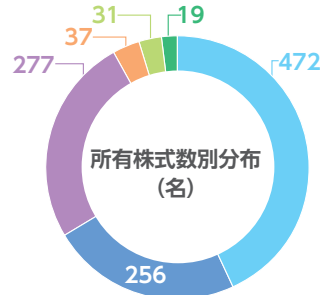
株主名	持株数	持株比率
王子ホールディングス株式会社	381千株	9.60%
OSK社員持株会	273千株	6.88%
三井住友海上火災保険株式会社	208千株	5.25%
株式会社西日本シティ銀行	189千株	4.76%
株式会社福岡銀行	186千株	4.70%
株式会社北九州銀行	175千株	4.42%
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	107千株	2.70%
中村泰子	104千株	2.63%
株式会社ニシキ	100千株	2.51%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	98千株	2.46%

(注) 持株比率は自己株式 (687千株) を控除して計算しております。

(4) 株式分布状況



● 個人・その他 1,041名 (95.3%)
 ● その他の法人 27名 (2.5%)
 ● 金融機関 18名 (1.6%)
 ● 外国法人等 6名 (0.5%)



● 500株未満 472名 (43.2%)
 ● 500株以上 256名 (23.4%)
 ● 1千株以上 277名 (25.4%)
 ● 5千株以上 37名 (3.4%)
 ● 1万株以上 31名 (2.8%)
 ● 5万株以上 19名 (1.7%)

●会社の概要 (2019年3月31日現在)

商 号	大石産業株式会社 OHISHI SANGYO CO.,LTD.
本社所在地	北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号
設 立	1947年2月3日
資 本 金	4億6,640万円
支 店	東日本／東京／関西／北九州／九州／シンガポール
工 場	八戸、茨城、鞍手、小倉、直方
従 業 員 数	324名(グループ505名)

連結子会社

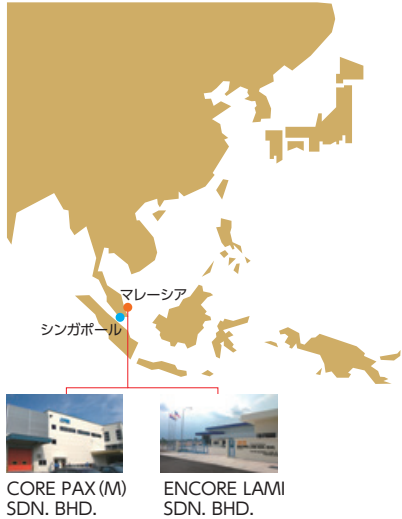
株式会社アクシス	ENCORE LAMI SDN. BHD.
CORE PAX(M) SDN. BHD.	柳沢製袋株式会社※

※2019年5月31日付で柳沢製袋株式会社を子会社化いたしました。

取締役 (2019年6月26日現在)

代表取締役社長	大久保 則夫
専務取締役	久 継 雅 夫
常務取締役	田 中 英 雄
取 締 役	高 田 圭 二
取 締 役	山 口 博 章
社外取締役(常勤監査等委員)	宮 地 郁 夫
社外取締役(監査等委員)	長 門 博 之
社外取締役(監査等委員)	川 本 惣 一
社外取締役(監査等委員)	福 地 昌 能

大石産業グループ拠点マップ



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
公告掲載方法	電子公告制度により行います。 公告掲載URL http://www.osk.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います)
上場証券取引所	福岡
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
郵便物送付先 お問合せ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 ☎0120-707-843

各種手続のお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等、証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求は、インターネットでもお受け付けいたしております。

ホームページアドレス

<https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンタで印刷できます。)

大石産業株式会社

〒805-0068 北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号
TEL.093-661-6511 FAX.093-661-1641
<http://www.osk.co.jp/>